

J-Press 号外 がんぱろ宮城

常興工業(株) 福島県保原市 <http://www.joko-kogyo.co.jp/eco/1104.htm>

ホームページで環境問題・エコな取組みを紹介していらっしゃいます。

今回、太陽光発電のホームページでお世話になっている『夢・彩・図』の小野さんのお声掛けで震災発生時の支援活動についてインタビューをお受けしました。

第22回 大貫建築株式会社 代表取締役 大貫 潤平様

東日本大震災にともない、3月17日、被災地 宮城県名取地区の避難所へトラック2台分の支援物資を届けられたという**大貫建築様**。

物資を届けるまでのいきさつや、復興に向けてのビジョンなどをお伺いしました。



- [無垢の家.com【自然素材の住宅建築とリフォーム】宮城県仙台市](#)
- [その太陽光発電ちょっと待った！-エコルーフ研究会【仙台市】宮城](#)

支援物資を通じて、多くの『ありがとう』がありました



支援物資を届けたことを伝える
大貫建築発の機関誌
(ニュースレター) J-Press ▶

[vo20_gougai.pdf \(524KB\)](#)

ニュースレターで支援物資を寄付されたと拝見しました。その他、今回の震災に関連して何か活動はされましたか？

ニュースレターには「廃材を薪のかわりに」したり「廃棄の浴槽で“五右衛門風呂”ともありますが、もしかしてこれもボランティアでしょうか？

3月12日朝食中に“閃き”ました。

丁度ホーロー製の浴槽だった為、火を炊いても大丈夫だろうと判断し、とりかかりました。車から100V電源が取れるバッテリーを持っていたのも幸いました。

1日かがりて完成後は、家族・友人・近所の方々に入ってもらいました。

『重い荷物を降ろしたようだ。気持ちいい』と友人のおばあちゃんに言っていただきました。

名取二中に支援物資を届けられたのですよね、なぜ名取地区？被害が大きかった地区だからですか？

支援物資を届けるにあたり、ガソリン残量ランプが点いている状態だった為、近くに行くことしかできませんでした。3月17日にはなりましたが、とにかく早く、多く必要な物を届けたいという一心だけでした。

物資に関しては全国の工務店の仲間が協力して集めてくれて、雪の中、多くの物資を届けることができました。支援物資を通じて、多くの『ありがとう』がありました。

地元のありがたさ、人の優しさに助けられ

名取二中まではスムーズに行けましたか？「がれき」など邪魔ではなかったでしょうか。
また、津波被害を目の当たりにした感想は？

避難場所なので道路は問題ありませんでした。
津波の被害地区、多賀城・関上・石巻・塩釜・気仙沼は何も無く、
防風林の松の木が根っこから流されており、大自然の力を感じました。

多くの犠牲もありますが、復興に向けて出来る事からやっていく、
新しい宮城を何年かかかってでも 作っていく。
衣・食・住にかかわるひとりの人間として今、試されているのではないかと考えています。

震災後は、ライフラインが途絶え、自分達の生活も大変だったのではと思います。
そんな中、食料や日用品など、手に入れるのは難しかったのでは？
どのように入手したのですか？

幸いなことに、秋保地区は田舎町なので普段通りとまではいかなくとも、
食べ物はそれなりにありました。火はなんとかかなりましたが、
水は地区ごとで「出たから、うちに来ていいよ」などのやりとりでしのぎました。

不安もありましたが、買うという行動より、この人に言えば米、この人は野菜・井戸水・薪などの
地元のありがたさ、人の優しさに助けられたこの1ヶ月でした。

今、出来る事からひとつずつ

学生達がボランティアをしているとのことですが
どんな雰囲気でしたか？ またどのように感じましたか？

急な事態で連絡が取れず、慌しく活動していました。

人の為になる活動が、
復興と共に、大人になるにしたがって
『大きな糧』になるのではないのでしょうか？

自分も含めてですが、物のありがたみ、
人の優しさなど原点を見つめ直す
何よりの教訓になっていると感じました。



社長ブログ
自然素材の家づくり太陽光発電、
日々の出来事日記 ▶

[社長ブログ](#)の「大工として、経営者として、人として、今何が出来るか、きれいごとではなく
『走りながら考える』というフレーズが印象的でした。
また、[太陽光発電ブログ](#)で日本とドイツの政策の違いにも、なるほどと思わされました。

これから、復興に向けて住宅や太陽光発電などの需要も高まるのではと思います。
長期的には復興にどのように関わっていかれるのか、具体的なビジョンはありますか？

長期的復興の為に、行政を含めた復興都市モデルが必要と思います。
今回は地震ではなく津波の被害が多く占めています。
その為、高台に住宅地をもっていく計画を早くしていただきたいと思います。

昔からの神社・仏閣が残っている場所は水災・地震の災害が少ない為 残っていると聞いています。
地盤も含め、自然の状況をよく検討することが、行政・建築業界に求められる事と思います。

そのほか、これだけは言っておきたいということがあれば
今回の震災を、日本全体が『リセット』のきっかけになればよいと思う。

家族・会社・水・電気・食料・住まい、色々な形で当たり前が一瞬でなくなりました。
5年後、10年後、生き生きとした日本になるよう、今出来る事からひとつずつ始め、発信していこう！
『だからこそ！！』と強く進んでいきたい。